

# 機能要件一覧

機能分類体系			要件定義	No.
大項目	中項目	小項目	要件	
■（A）基本要件				
（1）共通事項	a.サービス提供環境	ア.機器環境	①利用者の操作機器環境 ・ 対応させる機器 PC/スマートフォン/タブレット ・ 対応OSとそのバージョン Windows11 / 10 Mac OS 10.11 以降 iOS 11 以降 iPadOS 13.1 以降 Android 8.0 以降 ・ 対応ブラウザとそのバージョン Edge/Chrome/Safari	1
			②管理者の操作機器環境 ・ 対応させるOSとそのバージョン Windows11 / 10 Mac OS 10.11 以降 ・ 対応ブラウザとそのバージョン Edge/Chrome/Safari	2
			③利用環境においては、Java、ActiveX、.NET Framework等のプログラムを別途必要としないこと。必要とする場合は、その理由を明確に示すこと	3
			④HTML Living Standard準拠のブラウザに対応したシステムであって、端末標準搭載の最新のブラウザであればデバイスに依存することなく閲覧できること	4
			⑤利用者がビューワ等のアプリケーションをインストールすることなく電子書籍が利用できること	5
		イ.図書館システムとの連携	機能分類体系「■類型毎に異なる機能要件」・大項目「電子図書館のコンテンツ」に記載のあるコンテンツ内容の電子図書館を、京セラコミュニケーションシステム製図書館システム「ELCIELO」と連携させた実績があること（実績がある場合、連携実績数について記載すること。	6
		ウ.ネットワーク環境	①管理者側環境 個人情報保護のため、データの送信・運搬及び提供時には、暗号化通信により行うこと	7
			②利用者側環境 暗号化通信を行う機能を設けること	8
		エ.データ管理	①サービスにおいて登録されるデータは、デバイス内には情報は保有せず、サービス提供クラウド環境（データセンター内）でデータを保有すること	9
			②データのバックアップに関しては適切に行うこと そのバックアップ内容（回数・復旧方法など）、データ保管場所および形式は別途提示すること	10
		オ.サービス提供時間	原則、24時間365日利用可能とすること。ただし、保守等の予定された停止については、この限りではない	11
	b.デザイン・操作性	カ.デザイン	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること	12
		キ.操作性	利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすく、操作性が高く、効率的な運用が可能であること	13
		ク.アクセシビリティ	「JIS X8341-3：2016」が規定する「レベルAA」または、これに準ずる規格に準拠するなどアクセシビリティに配慮したデザインであること	14
		ケ.視覚障害者支援	サービスを円滑に利用するためのユーザ補助機能として、何らかの機能を用意できること （例） ・ 視覚障害者が自力でログイン、貸出、返却等をマウスレスで簡単に行える機能 ・ 各種機能をショートカットキーにより利用できる機能 ・ 電子図書館ホームページの文字の大きさ、画面と文字のカラー（白黒表示/白黒反転表示/色調反転表示）をボタン等を利用し簡単に変更できる機能 など	15
		コ.多言語対応	日本語を母語としない利用者を念頭に、電子図書館サイトの言語表記が変更可能な機能を用意できること ・ 想定する言語（例） 英語/ハングル/簡体中文/繁体中文	16

# 機能要件一覧

機能分類体系			要件定義	No.
大項目	中項目	小項目	要件	
	c.情報セキュリティ	サ.個人情報・情報セキュリティの遵守	個人情報保護法を順守すること	17
		シ.システムログ	エラー情報の把握やUI/UXの改善のため、必要なログを取得すること	18
		ス.アクセス・操作ログ	管理システムのアクセスログなどを取得すること	19
		セ.不正プログラム対策	①システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウィルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないよう対策を講じるとともに、それら対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと	20
			②システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップなど適宜実施できる環境を準備すること	21
		ソ.その他セキュリティ対策	プライバシー保護の観点より、個人情報が含まれるデータの保護対策については、万全の措置を行うこと	22
	d.利用規約等	タ.プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示すること	23
e.関係法規制への対応	—	サービスの稼働、運用・提供に係る関係法規制を遵守するとともに、常に最新動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること	24	
(2) 資格管理	f.利用者側 アカウント管理	チ.アカウント設定方法・ 認証方法	①利用者が、電子図書館の利用資格を判定する仕組みを有すること	25
			②利用者毎にID・パスワードを発行すること  (IDは、電子図書館専用番号のほか、既存の図書館システムの利用カード番号、学校利用を想定した学校専用番号など導入時に選択又は利用ができること。学校専用番号は、100,000アカウント以上を用意すること)	26
			③図書館システムと連携した場合、学校専用番号等別途作成したIDでの認証を除き、同システムで認証された利用者のみアクセスできるよう制御されていること	27
	g.管理側 アカウント管理	ツ.管理情報	①管理用アカウントを作成できること。また、管理用アカウントの数、各アカウントごとの権限については求めに応じて設定できること  ②当該設定は、管理者アカウントで行うことができること。ただし、図書館システムと連携した場合、図書館システムから発行すること	28 29

# 機能要件一覧

機能分類体系			要件定義	No.		
大項目	中項目	小項目	要件			
■（B）類型毎に異なる機能要件						
（３）利用者機能	h.サイト	テ.サイト構成	①自治体専用の電子図書館トップページを作成すること	30		
			②トップページに、新着コンテンツ案内、特集（ジャンル、対象別など）が表示できること。また利用者用マニュアルが表示できること	31		
			③対象別に（児童、障がい者など）資料を集めた特集は、アクセシビリティに配慮したページへの入口を設置できること（他の特集とは別のエリアに設置し目立つ表示にするなど）	32		
			④インターネットの検索エンジンで検索した際に（「北区立電子図書館 児童」などの文言を想定）対象別ページに直接アクセスできることが望ましい	33		
			⑤利用可能なコンテンツと貸出中のコンテンツについて、利用者の誰もが識別可能な表示ができること ・「借りる」「予約する」などの表示 ・「貸出可能」「予約可能」などの表示 ・利用可能か貸出中かを、文字を読まなくても色などで判別できる表示	34		
			⑥電子図書館から区立図書館など情報を利用者が取得できるように指定のURLにアクセスできる「リンク」機能があり、複数設置できること（リンクの設置は管理者機能ではなく事業者による対応でもよい） ・電子図書館トップページのヘッダー ・利用者用マニュアルのページ（PDF等で代替可能）	35		
	i.書籍検索	ト.検索方法	①簡易検索と詳細検索が可能なこと	36		
			②詳細検索では、以下の項目などで絞り込みできること コンテンツ名/著者名/ジャンル/貸出可能コンテンツ/読者対象/言語	37		
	j.貸出	ナ.コンテンツ貸出	①コンテンツ一覧画面又は詳細画面から、容易にコンテンツの貸出・閲覧ができること	38		
			②コンテンツを選択するとコンテンツの書誌情報が確認できること	39		
		ニ.試し読み	コンテンツの試し読みができること	40		
	k.予約	ヌ.予約	コンテンツが貸出中の場合は、予約ができること	41		
		ネ.予約通知	予約した本が貸出できるようになった場合、メールまたはアプリ等で通知ができること（どのような手段で通知可能か、具体的にご回答ください。）	42		
	l.返却	ノ.返却	貸出期間が過ぎたコンテンツは、自動的に返却されること	43		
	m.マイページ	ハ.利用者自身のポータルページ	マイページ機能があり、以下のことができること ・貸出・閲覧コンテンツ一覧確認 ・予約コンテンツ一覧確認（ライセンス消失により提供不可となったコンテンツについては、一定期間確認できるなど利用者への配慮がなされていること） ・貸出延長 ・予約取り消し	44		
	n.ビューワ	ヒ.ビューワ機能	①貸出手続きが完了したらワンクリック等の簡単な操作で借りた電子書籍を閲覧できること。ただし、ビューワ機能においては、電子書籍のタイプ（リフロー型コンテンツ、フィックス型コンテンツ）や出版社の許諾等により対応できない電子書籍があることは、差支えない	45		
			②目次を確認することができ、そこから該当章へジャンプできること	46		
			③しおりを複数設定でき、設定したしおりにジャンプできること	47		
			④ハイライト（マーカー）とメモをセットでき、設定したハイライトに移動することができること	48		
			⑤しおりとハイライト（マーカー）は電子書籍を返却するまで状態を保持できること。また、しおりは電子書籍が返却された後、次の利用者が利用する際は状態がクリアされること	49		
			⑥フィックス型コンテンツは誌面全体の拡大表示ができること	50		
			⑦リフロー型コンテンツは文字の大きさが変更できること	51		
			⑧リフロー型コンテンツは色反転表示が可能であること	52		
			⑨コンテンツ中の任意の場所に移動することが出来ること	53		
			⑩コンテンツを閉じて、再度読む場合は、前回閉じたページが開かれること。	54		
フ.読み上げ機能			①音声読み上げ機能があること。なお、読み上げ機能を搭載した有料コンテンツの提供可能冊数と内訳を別途提示すること（洋書についてはスマートフォン、タブレット、PCのOSの読み上げ機能や読み上げソフトによってEPUBのテキストを読み上げることを前提とする）	55		
			②読み上げスピードを変更できること	56		
（４）管理者機能			o.トップページ機能	ヘ.トップページ機能	トップページのレイアウト、色、ロゴ画像を変更できること。また、コンテンツのジャンルの登録・変更・削除ができること（管理者機能ではなく事業者による対応でもよい）	57
				ホ.お知らせ表示等	利用者へのお知らせ情報を表示できること。お知らせ情報は表示順の変更や削除ができること（管理者機能ではなく事業者による対応でもよい。）	58

機能要件一覧

機能分類体系			要件定義	No.
大項目	中項目	小項目	要件	
	p.利用者管理	マ.利用者のアカウント情報の修正・停止（廃止）	①利用者の登録及び修正、停止（削除、無効化）、予約情報の削除が可能であること	59
			②既存利用者のIDを変更（番号を上書き）した際に、当該利用者の貸出・予約資料が引き継がれる仕組みを有するか、あるいは何らかの対応が可能なこと	60
			③最終ログイン日などを条件にして、電子図書館を長期間利用していない利用者を抽出することが可能であること	61
			④利用停止中の利用者が抽出可能であること（削除者は対象外）	62
			⑤CSVファイル等による利用者の一括登録が可能であること	63
			⑥指定利用者の一括削除（無効化）が可能であること	64
		ミ.サービス利用状況の確認	利用者の貸出・予約情報が確認できること	65
	q.資料管理	ム.資料の選書	オンラインによる選定作業の環境を提供でき、以下のことができること ・ 資料名、シリーズ名、著者、出版社、販売開始日、ライセンス形態、などの情報で検索ができること ・ 児童など対象者別に検索ができること	66
		メ.資料の発注および納品	オンラインによる発注作業の環境を提供でき、以下のことができること ・ 発注した資料がすみやかに（30分から半日程度で）納品されること。ただし、サーバー更新などにより対応できないことは、差し支えない ・ 制限付きモデルのコンテンツは、納品された日/時間からカウントし、ライセンスの権利が正確に守られること。また、期限切れや回数制限が近い場合は、管理者画面等で通知されること。なお、納品日ではなく月末などにまとめて期限が設定される場合は提示すること ・ 貸出回数制限付きモデルのコンテンツは再購入の判断材料として、ライセンス消失までは利用者が予約可能な状態にし、その需要が判断できること	67
	r.資料登録	モ.独自資料	①自治体の独自資料の登録・変更・削除が可能なこと	68
			②独自資料のストレージを10GB以上提供すること。また、ストレージの容量の制限がある場合、追加が可能なこと（※追加にあたって、別途費用が発生する場合はこれを記載すること）	69
			③登録できるフォーマットは、ePUB、PDF等フォーマットに対応していること	70
	s.統計機能	ヤ.統計機能	①システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で集計する機能があること。（システム外の機能と組み合わせることも可）	71
			②利用登録者数、貸出冊数、予約冊数、延べ利用者数、蔵書冊数など 以下のような各種統計については、CSVファイル出力ができること ・ ジャンル別などの貸出統計、予約統計 ・ 独自資料の利用統計 ・ コンテンツのジャンル別、ライセンス別などの所蔵統計 ・ 登録アカウントの状態別統計 ・ 今後、図書館システムと連携した場合、利用者の年代別統計	72
(５) 電子書籍のコンテンツ	t.コンテンツについて	ユ.コンテンツの許諾	コンテンツは、公立図書館での利用が許諾された商用コンテンツであること	73
		ヨ.コンテンツのライセンス形態等	①EPUB 形式以外の多様なフォーマット（PDF、MP3等）のコンテンツが提供できること	74
			②無期限、有期限、貸出回数等様々なライセンス形態のコンテンツが利用可能なこと	75
			③リフロー型コンテンツ、フィックス型コンテンツがあること	76
			④コンテンツのライセンスは制限付きモデルと買い切りモデルがあること	77
			⑤制限付きモデルに関しては、有期限、貸出回数など様々なライセンス形態のコンテンツが利用可能なこと	78
			⑥同時アクセスが無制限の児童書バックが利用可能なこと	79
			⑦青空文庫を利用可能なこと	80
	ラ.コンテンツ数および内容		①有料コンテンツで和書は90,000コンテンツ以上、取り扱いがあること。また、下記出版社の書籍を取り扱っていること ・ 講談社 ・ 筑摩書房 ・ 平凡社	81
			②コンテンツの提供が可能な出版社数が200社以上であること	82
			③雑誌の読み放題バック（同時アクセス20人以上）が提供可能であること	83
			④下記の出版社の児童書の読み放題バック（同時アクセス無制限）が提供可能であること ・ 講談社 ・ フレーベル館 ・ Gakken ・ 国土社	84